

令和3年度

施政方針と予算

施政方針 **ASHIYA SMILE BASE**

人がつながり 誰もが輝く 笑顔あふれる住宅都市・芦屋



芦屋市長 いとうまい

新型コロナウイルス感染症に対しては、一日も早い収束に向けた感染拡大防止対策を徹底してまいりました。またワクチン接種については、市民の皆さんが適切に接種できるよう体制の整備に万全を期してまいります。今後も新たな日常への変容を模索する中、学校におけるGIGAスクール構想の推進をはじめ、刻々と変化する状況の中でも感染拡大の防止と市民、事業者の皆さんへの支援に躊躇なく取り組んでまいります。令和2年度に予定していた市制施行80周年記念事業は、事業期間を2年に延長しており、令和3年度こそは皆さんとともに喜び、祝えることを目指してまいります。かねてからの課題である少子高齢化は急速に進展しており、加えて新型コロナウイルス感染症により、私たち

の生活は一変することとなりました。

「行財政改革」では、こうした人口構成の変化や市民ニーズの多様化に対応するため、未来に向けた公共施設等の最適配置や前例にとられない業務全体の変革をさらに加速させ、持続可能な行政運営を推進してまいります。

新たにスタートする「第5次総合計画」および「第2期創生総合戦略」のもと、これまでとは違った考え方で課題に取り組んでいかなければなりません。

そして、国際文化住宅都市にふさわしい芦屋ならではの、まちの魅力を継承しながら、「ASHIYA SMILE BASE」をキャッチフレーズに、誰一人取り残さないまち、そして「人がつながり 誰もが輝く 笑顔あふれる住宅都市」を実現してまいります。

芦屋の未来のための 主な事業と取り組み

問い合わせ
政策推進課 ☎38-2127



人と人がつながって 新しい世代につなげる

- ◆電子図書館システムの導入(516万円)
新型コロナウイルスの感染防止対策および読書環境の整備を目的として、来館することなく利用可能な電子図書館サービスを令和3年8月から開始します。
- ◆就学前教育・保育における先駆的なICTの活用(353万7千円)
小学校以降の学習内容・環境を踏まえ、ICT機器(タブレット端末)等を活用した就学前教育・保育を実施し、さらなる質の向上に取り組めます。
- ◆岩園幼稚園における3歳児保育の試験的実施の開始(1,230万1千円)
令和3年4月から岩園幼稚園で3歳児保育の試験的実施を開始します。
- ◆GIGAスクール構想に伴うICTの効果的な活用(1,000万円)
1人1台タブレット端末等により、児童生徒の主体的・対話的な深い学び、学習支援ソフトを活用した個別最適化された学び、家庭でのオンライン学習への活用を進めます。
- ◆「産後ケア事業」の実施場所の拡充(367万2千円)
安心して出産・子育てができるよう、退院直後に支援が必要な母子の健康管理などを行う「産後ケア事業」の実施場所を1カ所から5カ所に拡充します。
- ◆市立精道こども園における病児保育事業の実施(1,681万6千円)
病气やけがにより他の児童との集団生活が困難な児童を一時的に保育することにより、安心して子育てが出来る環境を整備します。

- ◆市立西藏こども園における一時預かり事業の実施(1,367万1千円)
保護者の就労等による一時的な保育や傷病等による緊急時の保育に対応します。
- ◆市立西藏こども園における子育て支援拠点事業の実施(565万2千円)
家庭や地域における子育て機能の低下や子育て中の親の孤立感や不安感に対し、乳幼児およびその保護者が相互の交流を行い、子育ての相談、情報提供、助言その他の援助を行います。
- ◆市立緑保育所の大規模改修(9,500万円)
建築後41年が経過した施設の長寿命化を図るため、大規模改修を行います。
- ◆令和2年6月に日本遺産に認定された『伊丹諸白』と『灘の生一本』下り酒が生んだ銘醸地、伊丹と灘五郷に関する地域への更なる愛着と誇りの醸成に向けた取り組み
- ◆春日集会所の在り方における地域の方や利用者の皆さんとの協議
- ◆翻訳機能をもったタブレット端末の市の窓口への導入
- ◆徳川大坂城東六甲採石場400年記念事業の実施
- ◆古墳出土の金属器の保存処理および絵図や古写真等のデジタル化の実施
- ◆「ひょうご女性未来会議 in あしや」の開催
- ◆精道中学校の建替工事の実施
- ◆経済的な理由により就学が困難な方に対するタブレット端末活用に係るオンライン通信経費の支援
- ◆市立精道こども園の移転および市立西藏こ

- も園の開園
- ◆市立打出・大東保育所の民間移管に向けた合同保育の実施
- ◆市立朝日ヶ丘幼稚園敷地および市立伊勢幼稚園敷地での私立認定こども園の整備
- ◆放課後児童クラブ事業におけるタブレット端末の活用による業務のICT化の推進

人々のつながりを安全と 安心につなげる

- ◆高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施(948万9千円)
地域の通いの場を中心とした介護予防・フレイル対策(運動・口腔・栄養等)や生活習慣病などの疾病予防・重症化予防を一体的に実施するため、本市独自の仕組みを構築します。
- ◆新型コロナウイルスワクチン接種における体制整備(1億4,458万7千円)
早期の感染予防を実現するため、新型コロナウイルスワクチンの接種を進めます。
- ◆「合理的配慮提供支援助成事業」の実施(320万円)
障がい者差別のない誰もが暮らしやすい共生のまちづくりを推進するため、事業者にコミュニケーションツールや簡易スロープの設置に対する費用を上限額の範囲内で全額助成を行います。
- ◆集団健診受診申込みに係る市民利便性向上のためのWEB予約システムの導入



古写真のデジタル化



産後ケア事業



潜水隊